

生命科学研究者になったのか。

# 私はなぜ

## 細胞生物学の魅力

現代生命科学の最前線で活躍する研究者たちは、なぜこの道を進んだのか？サイエンスのおもしろさとは、研究者としての人生とは。学生、大学院生、高校生、若い研究者たちへ贈るメッセージです。



気がつけば  
生命科学に：  
科学に境界は無い

郷 通子  
お茶の水女子大学 学長



限りない  
生物学の楽しみ

竹市 雅俊  
理化学研究所 発生再生センター長



細胞エネルギーの  
源を探る

吉田 賢右  
東京工業大学 資源化学研究所長



医学研究の  
楽しみと人生

成宮 周  
京都大学大学院医学研究科 教授



整形外科医が  
幹細胞研究者に  
なった理由

山中 伸弥  
京都大学再生医科学研究所 教授  
iPS細胞研究センター長

## 日本学術会議シンポジウム

平成20年 10月28日 [火]

京都大学 芝蘭会館稲盛ホール

開催時間：午後1時～5時 / 入場無料(先着230名)

- \* 世話人：永田 和宏（京都大学再生医科学研究所 教授、学術会議細胞生物学分科会）  
塩田 浩平（京都大学 副学長、医学研究科 教授、学術会議形態・細胞生物医科学分科会）
- \* 共催：日本学術会議 日本細胞生物学会 日本解剖学会 \* 問い合わせ先：TEL.075-751-3848
- \* 協賛：日本組織細胞化学会 日本顕微鏡学会 日本臨床分子形態学会 日本医歯薬アカデミー

